

「各務原市の文化振興のあり方（案）」に関する パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

1. 実施結果の概要

各務原市の文化振興の基本的な考え方や推進方向、体制など今後の文化振興施策の指針となる「各務原市の文化振興のあり方」策定の参考とするため、「各務原市の文化振興のあり方（案）」についてパブリックコメント（意見募集）を実施しました。

その結果、11名の皆様からご意見をいただきました。いただいたご意見と市の考え方は下記のとおりです。

提出されたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類した上で、市の考え方を示しています（順不同）。

なお、求める内容と直接関係のないご意見についても、意見内容を公表し、市の考え方を示しています。

（1）実施期間

平成29年5月10日（水曜日）～5月31日（水曜日）

（2）意見の提出状況

提出者数 11人

2. いただいたご意見と各務原市の考え方

【1. 美術・博物館の建設】

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	37 ～ 38	<p>市民と行政が一体となって近隣市町村の文化振興策、街の景観を含めた本市の文化の潜在力を調査し、その結果を基に市文化振興のシンボルとなるものを創造する。</p> <p>具体的には、各務原市立「美術・博物館」を建設する。産業文化施設の確たるものとして航空宇宙科学博物館がありますが、市の文化財産を常設展示する本格的な施設はありません。これからの都市間競争を生き抜くためには、今から市の魅力、あるいはステータスとなるシンボリックな文化施設がもう一つ必要と考えます。</p> <p>更に具体的には市民公園またはその周辺に景観に配慮した個性的なコンセプトを持った瀟洒な美術・博物館を建設し、市所蔵絵画や発掘文化財、戦争資料などの所蔵文化財</p>	<p>伝統文化を将来にわたり守りつたえるといふ取り組みは非常に大切であり、そのために、今後とも文化財資料や市所蔵美術品展示の充実を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>文化財、文化芸術、生涯学習を推進するセクションが相互に連携しながら、当面は現在ある施設、市内に点在する文化資源を有効活用しながら、常設展示に加え、中長期的な企画展を計画的に実施したいと考えております。</p>

	<p>を常設展示する。また、公募による市民コレクション展や市在住美術作家の個展などの高レベルな展示会を開催する。</p> <p>美術館と博物館の両機能を持つものなので、場合によっては、市長部局と教育委員会の調整が課題ですし、将来に至る財政負担も考え、規模は大きくせず、職員も少人数で運営できる体制にする。</p> <p>また、全く質の異なる分野を一つの施設が担うことになるので、展示スペースの区分を明確にした建築様式とし、市の財政規模であれば工夫次第では可能であると思います。</p> <p>質はともかく、坪内・横山両画家の 4000 点にのぼる作品だけでなく、体制の整った施設ができれば、所蔵する作品をまとめて市に寄贈または寄託しても良いという市民も確実に現れるでしょうし、今は美術品が廉価なときでもあり、財政負担などで市民の合意を得ることができれば、計画を進められる好機だと思います。機が熟せば、建設のための一部基金の募集など市民の意思を示す活動にも私自身参加したく、多くの賛同者もあります。</p> <p>私の知る限りでは、美術愛好グループや歴史研究グループは市内に複数あり、豊かな人生を生きるのにアートや歴史遺産は欠かせないものであり、合意は決して難しいことではないと思います。</p> <p>なお、この構想が難しいならば、以前市庁舎新築の意見集約時に提案した、新庁舎の一角に市所蔵文化財の常設展示空間を設けることはどうでしょうか？</p>	
--	--	--

【2. 市民コレクション展の開催について】

No.	頁	意見内容	市の考え方
2	38	<p>市所蔵美術展については当然市としてやるべきことですが、最近では特定の所蔵作家に焦点を当て、作品や人物像を深く掘り下げていく視点もあるようで、好ましいことだと思います。</p> <p>ただ、現状の所蔵美術作品の展示はどうしてもマンネリ化する懸念があるので、同時期に市民が所蔵する作品を公募する形で「市民コレクション展」を開催できないでしょうか？</p> <p>職員の体制や公募方法、審査が難しい面もあり、直ぐには実現できないかもしれませんが、例えば所蔵絵画展と交互に開催しても良いと思います。</p>	<p>毎年、未公開の市所蔵絵画を順次公開しておりますが、今後は、各務原市にゆかりのある方にスポットを当てた企画展も実施していきたいと考えております。</p> <p>その場合において、市が所蔵する絵画に加え、市民コレクターの方の協力を得ながらより充実した展示ができるよう努めてまいります。</p> <p>市民コレクション展については、普段目にすることが出来ない貴重な資料を本格的な展示をしながら公開するという事で、非常に良いと思います。ただし、実施にあたっては整理すべき点多々ありますので、引き続き調整していければと思います。</p>

【3. 文化情報誌の発行について】

No.	頁	意見内容	市の考え方
3	37	<p>市が主催する文化行事または市の施設での行事は、市の広報紙で周知されていますが、新たに文化行事（生活文化を含め、あらゆるジャンルを幅広く網羅）のみに特化した情報誌（例えば各務原文化情報ボックス）を月1～2回発行し、そこには市内または市に縁のある行事が、公私を問わず全て集まってくるような仕組みを作り、観光行事と連動したものを目指す。市が仕組みをつくり、他機関、団体（例えば文化協会）で運営してもらっても良いと思います。</p>	<p>現在、文化行事に関する情報は市の担当各課が主催する行事に加え市民会館や文化センターで実施される事業も含めて、市広報紙のカルチャーのコーナー（2～4ページ程度）に集約し月2回発行しております。</p> <p>文化のみに特化した「新たな情報誌の発行」については、必要性（情報量、発行頻度、広報紙との差別化など）や、費用対効果などの観点から慎重に検討する必要があると考えております。</p> <p>市民アンケートでは、市の文化事業を知るための情報媒体としては、市の広報が7割台半ばと非常に割合が高く、ポスターやチラシ、雑誌や地域情報誌が3割近くとなっております。今後は、事業の対象も踏まえつつ、情報メール、ツイッターなどのSNSの活用も含めた発信を行うよう努めてまいります。</p>

【4. 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実について】

No.	頁	意見内容	市の考え方
4	39	各務原市の小中学校、高校で舞台鑑賞をや ってほしいです。	<p>子どもたちが優れた文化芸術に触れることは、豊かな心や感性・創造性を育むとともに、次代の文化芸術の担い手や鑑賞者を育成する上でも重要であります。</p> <p>各学校においては、子どもたちの実態や発達段階、独自の特色あるあゆみ等を踏まえて、学校生活の中で対話やディスカッション、身体表現、合唱等、多様な活動を効果的に取り入れ、子どもたちの表現力や創造力、コミュニケーション能力を養うことに努めております。</p> <p>また、各学校では文化芸術団体による演劇会や演奏会などを行い、子どもたちが本物の良さに触れ、豊かな創造力や思考力、コミュニケーション能力を養うとともに、あこがれを持つたり、感性を磨いたりできる機会を設けております。</p> <p>これからも、子どもたちが、様々な表現活動に触れる機会を設け、豊かな表現力、創造力、コミュニケーション能力を育ていけるよう努めてまいります。</p> <p>その他、市の事業として未就園児や、未就学児などを対象にした、0歳児からのコンサートやファミリーコンサートなどを行っていますが、それらの実施にあたっては、鑑賞だけにとどまらず、出来る限りワークショップや、楽器体験、芸術家との共演など、子どもたちが参加体験できる機会の提供もとりいれて実施してまいりたいと考えております。</p> <p>今後とも引き続き必要な予算を確保しながら、これらの事業を継続していくことで、芸術鑑賞の機会を確保していくとともに、子</p>
5	39	幼児から小中学校、全ての子どもたちに生の舞台芸術に触れる機会を与えてほしい。	
6	39	小中学校で学芸会をやると良いと思います。出来れば自分達で台本を考え、キャスト、演出も全て子どもたちでやれると想像力や達成感もあると思います。	
7	39	小学校で学芸会をやってほしい。	
8	39	合唱もいいけど学芸会も行って欲しい！機械の中で過ごす子どもたちは生に飢えている気がする。舞台は疑似体験できる。想像力が生まれる。	
9	39	市内の学校全てで観劇会をやって欲しい。	
10	39	市民劇をやってほしい。	
11	39	<p>各務原市で市民劇がやりたいです。可児市では毎年市民劇が行われています。私も一度参加しましたが、本当にいい経験となりました。初めて会う人たちと、舞台を作り上げるための約半年、苦労したり、感動したり、泣いたり、笑ったり、皆さんと過ごした時間は宝物です。私は各務原市でもやりたいと強く思いました。</p> <p>子どもの頃から、大人と関わりこうした事を繰り返すと、皆で創る楽しさ、苦労、達成感を経験し、この町への、思いも育ちます。</p> <p>可児市のように、市民と創る文化活動のできる町にしたいです。</p>	
12	39	子供達にいい文化を与える為に予算が低すぎます。将来の子供達の為にお金を使って下さい。心豊かな子供達になる為に良い文化を与えてください。	

		<p>2年前に、保育所での学級委員をしました。日々、仕事に追われる親子に楽しい時間を提供したくて、市の勧める講座や劇団の劇も検討するなかで、支援して頂ける金額がとっても、劇団を1つお願いすれば、もう、保護者費から負担しなければ、残りの企画は賄えない状況でした。</p> <p>親の子育てに対する講演、講座を行いたくても、保護者費の負担を思うと、仕事で参加できない親が多いなかで、高額な講座を企画するのはとっても気が引けました。</p> <p>もう少し、支援して頂ける金額を増やしてもらえたら、いいなあ。そんな思いを感じました。ご検討下さい。</p>	<p>もたちの創造力やコミュニケーション能力の涵養を図ってまいりたいと考えております。</p>
13	39	<p>子どもの権利条約第31条には休息、余暇、遊び、レクリエーション活動、文化的生活および芸術に対する子どもの権利が書かれています。しかし、子どもを取り巻く文化環境は守られていない。ゲーム、携帯、パソコン。子どもたちは機械に囲まれた暮らしの中、生の文化にふれる機会が保証されていない気がします。機械を通してのメディアは受け身です。考えなくても情報が与えられます。</p> <p>しかし生の舞台などは、能動的で、背景も変わらず、再生も巻き戻しもできず、想像力や受けとる力、集中力がないと成立しません。また、経験不足の現代の子どもたちが疑似体験することができます。そして、感想を共有することで、感じ方も自由でいいことを学べます。生に飢えている子どもたちの文化圏を保証していきたいです。</p> <p>想像力、コミュニケーション力の低下による人間関係のトラブルも増え、悲しい事件が後をたちません。道徳教育も大切ですが、今こそ文化を通して心を育むことを教育の中で取り入れていくことを検討すべきであると思います。</p>	

【5. 小学校における読み聞かせについて】

No.	頁	意見内容	市の考え方
14	39	<p>読み聞かせの大切さ、必要性。市内小学校に読み聞かせボランティアの輪が広がること。</p> <p>私は、11年前より鶴沼第一小学校で週に二回、朝、仲間と共に、読み聞かせをしています。中央図書館で未就園児対象に読み聞かせ、現在は、各務小や、図書館ボランティアより、市内小学校へも派遣されて活動しています。その活動が広がり、3年前より鶴沼中学校の3年生対象に家庭科の授業の中の保育で、読み聞かせの授業もさせて頂いています。市内の小学校で、地域の方が読み聞かせを行なっている学校は限られています。独自でやっていない学校は、年一回、図書館より派遣されるボランティアによる読み聞かせだけになります。</p> <p>もし、全ての小学校で読み聞かせが出来れば子どもたち、保護者、地域の方ともっと繋がっていき、子どもを真ん中に、地域で見守って行けるのではないかと考えます。デジタルの中で育てている子どもたちに、人の温かい肉声が必要なのです。</p> <p>11年前より鶴沼第一小学校では読み聞かせをさせて頂いています。図書館ボランティアさんに鶴沼第一小学校の子どもたちの様子を聞くと、直ぐにお話の世界に入り込み、とっても反応がいいと言っただけです。聞く姿勢が出来ていると言うことです。日々の関わりが子どもたちにとって、安心して聞け、心が解放されているのだと思います。</p> <p>私たちは、授業の始まる前のほっとできる時間を作ってあげたいと願っています。6時間座って授業を受けるのは大変です。授業の前に、ほっこりする時間が持てたなら、少しでも、子どもたちの次へ向かうスイッチみたいな居場所になれたならと考えます。</p>	<p>ボランティアで読み聞かせ活動に参加していただいているとの事で、ありがとうございます。</p> <p>学校における読み聞かせの活動は、読書活動推進の一環として、各学校が取り組んでおり、他にも一斉読書やブックトークなどの様々な取組があります。</p> <p>読み聞かせの実施の方法については、各学校の状況により、地域のボランティアの方にご協力いただく場合もあれば、保護者または先生が実施する場合もあるなど様々です。</p> <p>今後も地域の方等のご協力をいただきながら継続して取り組んでまいります。</p>

	<p>辛い事件が身近なものになってきている世の中、親以外の大人が子どもたちにとって信頼できる存在になれたなら、守れる命はたくさんあるのではないのでしょうか。</p> <p>各、小学校単位で読み聞かせが行えれば、これも文化の継承の一つではないのでしょうか。子どもたちが大人になった時、次の世代のいのちへと受け継がれていけば、素敵な地域になるはずです。私もおばあちゃんになっても続けていきたいです。</p>	
--	---	--

【5. 障がい者アート展について】

No.	頁	意見内容	市の考え方
15	37	障がい者アート展をぜひ復活させてほしい。「アートはちから展」の展示を通して、障がいがある、ないに関わらず、表現を通して交流ができることを、過去5回の展示から、学びました。スポーツにパラリンピックがあるように、アートの分野でも、障がいのある方たちの力作を鑑賞できる機会を増やしてほしいです。	<p>市では平成23年度から5年間障がい者アート展を実施しました。平成28年度からは福祉の里が障がい者アート展を実施しており、施設利用者のほか、市内の福祉サービス事業者の利用者の作品展示も行われ、平成29年度も継続される予定です。</p> <p>なお、市では市美術展、高校生美術展を実施しておりますが、いずれも障がい者の方からも出品いただいております。引き続き、障がいがあるないに関わらず表現できる場の提供に努めてまいります。</p>

【6. その他】

No.	頁	意見内容	市の考え方												
16	7	市内の芸術家数 音楽家・舞台芸術家の数が平成12年は120人、平成17年は150人、平成22年40人と激減している。理由は何故か？	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成12年</th> <th>平成17年</th> <th>平成22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美術家、写真家、デザイナー</td> <td>114</td> <td>130</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>音楽家、舞台芸術家</td> <td>82</td> <td>137</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>芸術家数に誤りがありましたので訂正いたします。国勢調査は自己申告によるものであり増減の明確な理由は把握できておりません。</p>		平成12年	平成17年	平成22年	美術家、写真家、デザイナー	114	130	200	音楽家、舞台芸術家	82	137	50
	平成12年	平成17年	平成22年												
美術家、写真家、デザイナー	114	130	200												
音楽家、舞台芸術家	82	137	50												
17		子ども劇場が場所取りをする時は優先的に取らせてほしい。	特定の団体のみ優遇することはいたしかねますので、ご理解いただきますようお願いいたします。												
18		文化ホール等の使用時間を延ばしてほしい。	文化ホールの使用時間は21時までとなっておりますが、閉館時間である22時まで延長し使用することが可能です。												

			使用時間の延長につきましては、利用実態、 利用者の声などを総合的に勘案しながら検討 してまいります。
--	--	--	--